

## 角野校区まちづくり懇談会 開催結果報告書

開催日時	令和元年9月2日(月)	19:00~20:30
場所	角野公民館	
司会・進行	松本連合自治会長	
参加者数	男 56人	女 11人 合計 67人



### 1 市の重点事業に関する質問

#### 【質疑応答】

(参加者) 土のう置き場が市内に3か所あるということだが、西日本豪雨のボランティアで宇和島に行った際、土のう置き場が各町に1か所しかなく間に合わないという現状であったので、校区に1か所ずつぐらい増やしてもらえないか。また、「新居浜太鼓まつり」について、自分自身青年団として祭りに参加しており、かき夫が減少していると感じている。西条市では高校生の参加により各地区20名程度かき夫が増えているという話も聞くので、難しいとは思いますが、中高生の参加を認めてかき夫減少を抑えていただきたい。

(市長) 土のう置き場については市で3か所は少ないので、さっそく検討をさせていただいて各校区に1つぐらいは設置できるように検討していきたいと思う。

「新居浜太鼓まつり」については、どこの太鼓台からも人手不足ということは言われており、他からの応援をしてもらっているという話をよく聞く。可能であればということで、各高校に働きかけて高校生の参加をお願いしているが、鉢合わせがあるということでPTAの方に賛成をしていただけないとの事である。そのため、まずは市全体で鉢合わせのない祭りの雰囲気を作っていくながら、できれば上部地区のように鉢合わせのない地区についての参加を高校に対して申し入れていきたいと思う。

(松本連合自治会長) 参考までに、公民館にも土のうはある。どのくらいの量が必要なのかわからないが、自治会や公民館に直接連絡をしてほしい。また、消防分団にもあるようだ。防災安全課でもその辺りは準備してくれていると思う。

(参加者) そこそこはあるかもしれないが、我々ぐらいの年代だと自治会に加入していない方もたくさんいる。この前の台風の時も私が自治会に加入しているということで、何人かに土のうがあることを連絡したが、「土のうはどこにあるの？」と聞かれた。消防団や公民館にあるということは市政だよりを見てもらうことが一番だが、それをみんなに広めていただきたい。

(松本連合自治会長) 自治会に加入し、自治会長から連絡を流してもらおう。また、自治会に加入していなくても角野防災会や公民館を利用していただければと思う。

(参加者) 角野連合自治会が主体となって毎年生子橋周辺の環境整備を行っているが、生子橋周辺はごみが散乱しているため、別子銅山等を観光拠点とするのであれば、新居浜市が全面的に主体となって実施すべきではないか。

(市長) 生子橋周辺の木の伐採につきましては角野連合自治会で実施していただきありがとうございます。木の伐採により奇麗になった結果、ごみが目立つようになったということで、市でも年に1、2回ボランティアで環境整備をさせていただいているが、まだまだ足りないところがあると思う。市としてもできる範囲のことはするので、連絡いただければ、大きなごみは市のほうで片付けさせていただく。

(参加者) ひどい所は自転車が木の中に捨てられている。こういうことをいつまでも放置していたのでは、新居浜市の観光のイメージアップには程遠いと思うので、対応をお願いしたい。

(市長) 言われる通りである。そういう大きなごみについては市のほうに連絡いただければ対応するのでよろしくをお願いしたい。

(松本連合自治会長) 補足すると、今、角野連合自治会で木を切っているが、切ったところにはごみが少ない。切っていないところは多い。先日市長にお願いして防犯カメラを設置するようになっている。警察にもパトロールの強化のお願いをしているので、不法投棄は収まると思う。

## 2 校区課題

### 校区課題 山根公園北側道路整備と横断歩道の新設及び新田橋東詰め交差点信号機の設置について

#### 【質疑応答】

(角野連合自治会 荻山副会長) 山根公園から新居浜インターチェンジまでの角野船木線の開通に伴い、マイントピア観光や高速自動車道へのアクセスの増加、大型車両の通行等により交通量が増加している。それにより、山根公園北側道路は、約5m間隔で3か所の

道路のへこみがみられ、その都度アスファルトにより修理されてはいるが、地盤改良が必要ではないかと思われる。市としての根本的な解決策を検討していただきたい。

また、種子川地区では本道が生活圏域を分断している状態にあり、住民が横断する際に危険性が高いため、中間地点である、たねがわ心の相談室前に新規に横断歩道を設置していただきたい。

また、新田橋東詰めの交差点はマイントピア別子に向かう観光客や山根公園を利用する市民により通行量が増加している。特に休日、行楽シーズン、マイントピアのイベント実施日等は非常に交通量が多いので、死亡事故等の重大事故が発生する前に安全対策として信号機を設置していただきたいという要望である。

(建設部長) 山根公園北側道路の不具合については、定期的にオーバーレイで補修をしているが、完全には直っていない。今後の市の対応としては、先ほど提案をいただいたように、詳細な調査を実施して沈下の原因を探り、根本的な対策を実施したいと考えている。

次に、たねがわ心の相談室前の横断歩道の設置については横断歩道の設置の所管となる新居浜警察署に確認したところ、「今年度中に設置する予定になっている。」という回答であった。先日確認したところでは、まだ設置は出来ていないとの事だったので、これもしばらくお待ちいただきたいと思う。

3点目、新田橋東詰めの交差点の信号機の設置については、平成30年度のまちづくり校区懇談会においても要望いただき、関係個所との協議を進めて現在に至っているところである。まず参考までに昨年度の検討結果では、「新田橋東詰め道路交差点の信号機の設置について、所管する新居浜警察署へ問い合わせたところ、「当箇所においては交通量も多く、信号機の設置が必要であると認識しているので、今後関係機関と協議のうえ、設置したいと考えている。」との回答があった。

昨年度の要望を受けて新居浜警察署による当該交差点での交通量調査を令和元年6月18日午前7時25分から午前7時55分まで実施し、その結果について、6月21日に新居浜警察署から担当課に連絡があった。その内容は、昨年度から大分後退する回答で、「現地調査の結果、現在の交通量からは信号機設置の必要があるとは判断できない。設置に必要な交通量ではない。」というものであった。新居浜市としては、

1. この交差点ではここ最近複数回の交通事故が起こっていること
2. 別子への観光客やテニスなどで山根公園を利用する市民が増えているということ
3. 警察の交通量調査が火曜日の朝の通勤時間帯であったことから、観光客や山根公園を利用する人の人数が反映されていない結果であることから、車両の数のみならず方向が休日、祭日とは全く違うこと

等から、再度休日等の調査を検討するようお願いをしている。

**校区課題 防災と教育面からのWi-Fiの充実（公民館からの充実を）**

## 【質疑応答】

(角野連合自治会) 角野校区というより新居浜市内の公共 Wi-Fi については、ほとんど普及されていない。角野公民館内にあるといわれる Wi-Fi も、公共 Wi-Fi として使えない。現在、例えば線状降水帯等防災上の重要な最新情報等は、YouTube 等インターネット上にある。

調べてみると、新居浜市全体で123か所のフリーWi-Fi のアクセスポイントがあるが、公共のものは愛媛県の科学博物館ぐらいである。西条市は全体で121か所で、公共施設は30か所ある。今治市は14か所、四国中央市は11か所、島しょ部の上島町も11か所ある。防災上、教育上必要なツールなので、市の公民館に市のインターネットとは別の独立したインターネットと公共 Wi-Fi をお願いしたいと思う。それに合わせて通信費の助成もお願いしたいと思う。

(教育委員会事務局長) まず、角野公民館をはじめ市内の公民館に設置されているフリー Wi-Fi について、愛媛県とソフトバンクが協定を結び、ソフトバンクのフリーWi-Fi が県内の公共施設に設置され、電波状況が悪い若宮、別子山公民館と大島交流センターを除く市内の公民館、交流センターにも、ソフトバンク側の費用負担により平成25年10月に設置されている。

通常の使用は、ソフトバンクユーザーに限られるが、災害発生時には、愛媛県の要請によりキャリアフリー化が行われ、スポット等を開放することで、全ての携帯電話等のユーザーが接続でき、実際、昨年7月の西日本豪雨災害発生の際には、キャリアフリー化が行われ、県内3,000箇所程度あるスポットを含めて開放されたとのことである。

次に Wi-Fi を提供する際の課題について、Wi-Fi は便利であり、来訪者にも喜んでいただけるサービスとなり、今後、防災や教育の立場からも Wi-Fi の必要性が益々高くなってくると考えられる。

しかし、行政が公共施設に設置する Wi-Fi となると、セキュリティ対策を十分に行っておかなければ、悪意のある者からは格好の標的になることから、総務省情報セキュリティ対策室からも、強固な暗号化の設定、違法・有害情報への対応などが求められる。

次に Wi-Fi に関するランニングコストの現状について、平成30年2月の総務省の試算によると、契約する電気通信事業者やサービス内容、設置箇所等によって、大幅に前後する可能性があるが、仮に地方自治体において10施設にアクセスポイント(無線 LAN アクセス装置)を50台設置した場合、アクセスポイント保守費、回線利用料、システム運用費、ネットワーク監視費の合計では、年間約130万円から約347万円の経費が必要とされるなど、多額の経費が必要となる。

提案を頂いた角野公民館だけではなく、防災や教育上の観点から、市内の各公民館、交流センターへ公共 Wi-Fi を設置することについては、セキュリティ対策を念頭に置き、今後市長事務部局の情報政策課や防災安全課と費用対効果を協議しながら検討したいと考えている。

(市民部長) 市民部からは防災の面からの Wi-Fi の充実について回答させていただく。現在、インターネットは情報収集に欠かせないツールで、本市でも防災情報をホームページや Twitter、いんぷお新居浜などでも発信しており、災害時の公共 Wi-Fi の必要性については十分理解している。Wi-Fi 環境未整備の公民館等避難所への Wi-Fi 設置については、災害時だけでなく、平常時の使用方法やセキュリティ、ランニングコスト等の課題があることから、施設所管課と協議したいと考えている。

もうひとつ、自治会館へのインターネット接続費用の助成については、自治会館へのインターネットや Wi-Fi の設置については特に情報をいただいてないし、まずは公共施設等への設置など、優先順位を考えると現時点では難しいのではないかと考える。

Wi-Fi を設置すると、先ほど話があったようにセキュリティ対策に加え、利用料などの経費負担も発生する。市としては、自治会関係の限られた予算の中で必要な優先順位について、今後、市の連合自治会とも協議したいと考えている。

(角野連合自治会) セキュリティと言っているが、何を心配しているのかわからない。それと西条は30か所の公共のフリーWi-Fi があるが、そのヒアリングも研究もされていないと思う。セキュリティは個人の問題である。当然フリーWi-Fi を開設するにあたって「使用する場合は自身の端末の責任において使用すること」と言って法的に逃げることはできる。今の話を聞いていたら、いつまでたってもできない。先ほど市長が言っていたような「若者が住みやすい」どころか若者は逃げていく。U ターンはしない。公共の Wi-Fi もないじゃないかということになる。自治会で我々が作ったのは、公民館に公共 Wi-Fi がいないから年間6万円で設置した。環境を整えないことには設置できない。設置できなければずっとそのままである。何とか子供たちに災害などの新しい情報を伝えないといけない。それから公民館では年寄りが通信カラオケをすることができる。年間6万円でできる。どうしたらできるかを考えて、他の進んでいる地域に聞いて、何とかできるようにしなければ、若者は寄りつかない。よろしくお願ひしたい。

(教育委員会事務局長) 西条や他市の状況は研究させていただく。

## 校区課題 東城交差点から山根派出所前までの道路改良について

### 【質疑応答】

(角野連合自治会)

国道11号線の東城交差点から上部東西線山根大通りまでの接合点となる山根派出所前交差点の間の県道の安全対策、道路の拡幅、歩道の整備をお願いしている。これは平成27年度に泉川校区と角野校区の共通課題として同時に出した。今回、東城交差点の西南の角にある空き家を取り込んだ形で、東城交差点の改良が昨年からは動き出し非常に喜ばしいことだが、まずは下からということではなくて、全体を是非とも取り組んでいただきたい。

昨年も取り上げていただき、皆さんのお手元にある令和元年度の地域課題を1枚めくっていただくと、平成30年度の地域課題の4番にあるが、特に今年申し上げたいのは、「今の沿線部分は部分的に地図混乱地域となっていて土地の所有者が確定できない。」というのが県からの回答である。私が申しあげたいのは、この仕事は基礎自治体の仕事、市町村の仕事である。県が「構図が混乱している。所有者が確定できないから。」という理由を言うのは、市に対してボールを投げているので、新居浜市がそれに対してどう答えるのかという事だと思うので、是非とも進めていただきたい。

(建設部長) 先ほどの説明にもあったように、東城交差点から山根派出所交差点までの間については、いわゆる主要地方道本県道新居浜別子山線で県道ということになっている。本県道は、皆さんご存じのように新居浜市の主要な幹線道路であり、交通渋滞の緩和であるとか歩行者・自転車の安全確保を強く望む路線であるということで、愛媛県には新居浜市から道路整備事業の着手について要望していく。

現在、新居浜港線、いわゆる西町中村線と新居浜東港線、金子中萩停車場線の道路拡幅という大きく3つの事業が進んでいる。新居浜東港線についてはもう数年で事業が終わり、それに引き続いて西町中村線も事業が完成するだろうという事になる。その後、県としても既存の県道の拡幅であるとか、県道の整備についてという事で継続的な整備が行われるものと思う。新居浜市においても、新居浜別子山線は今の交通量等を総合的に判断して非常に重要な路線であるという事で、現在の県道の整備の次に重要な候補になる路線であるというような認識をしている。新居浜市としても愛媛県に道路の整備の促進について強くお願いをしている。

それと、先ほどのご説明の中であった公図混乱という事だが、公図混乱地区というのはこの路線に限ったことではなく、通常の市道の拡幅、それと現在行っている11号バイパスの整備においても、見られる現象である。新居浜市では愛媛県が事業に着手する時には、公図混乱地区部分を道路整備時に実施する測量において解消が図れないか、県と十分協議していき側面的に協力したい。なお、説明したとおり東城交差点南部分は、暫定的であるが、現在、一部交差点の改良という事で調査・設計にかかっている。今後もし、事業の実施という事になれば、地元の方々には協力と迷惑をかける事になると思うが、協力をお願いできたらと思う。

(角野連合自治会) 新居浜別子山線は主要な生活道であるし、主要な地方道である。新居浜市の都市計画道路にもなっている。それがずっと何十年も止まっている訳だから、進めて頂きたい。県が「地図の混乱があるから所有者が確定できない。」というのは、私達角野校区の者に答えたのではなくて、新居浜市の行政に言っているので、県が「始める」と言って初めて腰を上げて協力するのではなく、県が工事を進めやすいように、始めやすいようにおぜん立てをしてほしいというのが今日の願いである。

昔のことを調べていたら、27年に校区要望を出して28年度には新居浜市から中村知事に対する知事要望としてこの区間の改良をお願いしている。まず新居浜市が、県が工事に取り掛かりやすいようなおぜん立てをする。そういう覚悟を持っていただきたい。

(建設部長) 国土調査なのか、用地測量なのか、どちらが事業の完成に早いのかを含めて、十分検討して進めたいと思う。

### 3 その他

(参加者) 広報塔は雨が降ったら聞こえないので、防災会で防災ラジオについて聞き、老人会でこんな良いものがあるよということになり、老人会で10個買いに行ったが、一度電波が通るか通らないかを確認してもらわないと販売できないということだった。1台だけ買って帰って「ランプがついたら聞こえる。」と後の9人に回したら、「ごめん、ランプがつかなかった。」と。アンテナが市役所の屋上にあると聞いたが、角野の方で前に2階建てがあるとか、マンションがあるとかいうところは(電波が)入りにくいかもわからないが、10人が10人ともダメだったのでごめんなさいという話になった。できたら電波のチェック又はアンテナを広くするとかお願いしたい。

(市民部長) ちょっと所管が違うかと思うが、FMコミュニティラジオの方の放送の電波、ラジオに問題があるのではなく、電波の強さの方に問題があるのではないかと思うので、その辺はまた、コミュニティFM放送の方に電波のチェックということを伝えておく。